

平成28年度 静岡大成高等学校 自己評価率比較表

評価項目	自己評価率					
	前期		後期		平均	
	A	B	A	B	A	B
1 授業力を高めて学習意欲を育て、基礎学力の定着と自学自習力を強める。						
① 指導方法を工夫しわかる授業、興味関心を引く授業に取り組み、学習内容の定着を図りそれを活用する力を育てる。	21%	42%	36%	42%	29%	42%
② 授業規律を整え、落ち着いた学びの環境を作る。チャイムで始まる授業・授業始業の挨拶・机上の整理	36%	55%	52%	42%	44%	49%
③ 研究授業・公開授業に積極的に取り組み授業力の向上に努める。	39%	42%	42%	45%	41%	44%
④ シラバスの充実に努め、授業内容や評価について検討し改善を図る。	39%	45%	45%	42%	42%	44%
⑤ 生徒による授業評価を真摯に受け止め、授業の改善に努める。	24%	36%	48%	42%	36%	39%
⑥ 校務電子化に伴いデータ入力は慎重かつ正確さを心掛け責任を持って処理する。	39%	58%	55%	42%	47%	50%
⑦ 教務内規の「五段階評定換算表」の意義をよく理解し、目標達成への積極的に取り組む。	45%	33%	55%	36%	50%	35%
⑧ 教務内規の徹底と個に応じた指導の心掛け、単位未修得者を防ぐ努力をする。	39%	42%	58%	33%	49%	38%
⑨ ICT活用授業を推進するために、利用方法を教科で検討し、実践する。	9%	42%	24%	36%	17%	39%
2 心身を鍛え何事にも粘り強く果敢に挑戦するたくましい生徒を育てる。						
① 生徒会活動・奉仕活動や部活動などを通して、集団への帰属意識を育て、規律や礼儀を重んじる態度を養う。	30%	64%	48%	42%	39%	53%
② 委員会活動や学校行事の一層の活性化に努め、クラスや学年の団結力や自治意識の向上を図る。	18%	42%	21%	42%	20%	42%
③ 運動・スポーツに主体的に取り組ませ、自らの健康を促進できる実践力を養う。	42%	33%	42%	33%	42%	33%
④ 地域や学校外活動への参加を通して社会性を身に付けさせる。	24%	30%	24%	36%	24%	33%
⑤ 計画性を持って資格取得に励み挑戦する意欲や物事をやり抜く力を育てる。	27%	39%	42%	30%	35%	35%
3 生徒一人ひとりの能力と適性が最大限に生かせる進路実現に努める。						
① 第1学年は生涯設計やキャリア教育に基づき自己の適性や将来の希望を生かした進路実現計画を立てさせる。 第2学年は外部の進路説明会やオープンキャンパス等への積極的な参加を促し、進路目標を明確化させ、その実現に向けた指導をする。 第3学年は目標達成のために能力を最大限発揮させ、進路実現に向けた支援体制を強化する。	33%	27%	30%	42%	32%	35%
② 小論文講座の充実や各資格取得率の向上を目指して、生徒の意欲を伸ばす。	18%	33%	18%	36%	18%	35%
4 基本的な生活習慣と規範意識を確立させ、豊かな人間性を養う。「衣を正し、時を守り、場を静め、礼をつくす」						
① 3マナーアップ指導を心掛ける。	33%	48%	39%	55%	36%	52%
② 規範意識を高め、社会や家庭・学校のルールを遵守し、反社会的行為の未然防止に努める。	61%	36%	73%	24%	67%	30%
③ 挨拶の励行、品位ある服装や態度	55%	45%	61%	39%	58%	42%
④ 心身の健康管理、規則正しい生活習慣の確立をめざし遅刻者撲滅に向けて取り組む。	55%	33%	61%	30%	58%	32%
⑤ SNSやLINEなどの情報伝達手段の使用についてのマナー指導	42%	27%	48%	30%	45%	29%
⑥ 学校での生徒の変化に気を配ると共に、情報を共有できる体制を作る。	48%	45%	52%	45%	50%	45%
5 生徒や保護者が誇りや充実感の持てる教育を実施し、外部に効果的に発信する。						
① 生涯学習・PTA行事・地域交流には積極的に取り組み、本校の幅広い教育活動に理解を深める。	15%	39%	21%	45%	18%	42%
② 若手教員研修を通して、指導者も指導を受ける側も本校教員として資質向上を目指す。	24%	52%	39%	42%	32%	47%
③ 本校の情報を効果的に外部に発信できる広報活動を工夫すると共に、全職員が力を合わせて広報活動を進める。	36%	45%	42%	45%	39%	45%